

議案に対する 討 論 要 旨

賛 成

平塚クラブ

平塚クラブを代表して、議案第25号平成22年度平塚市一般会計予算について賛成の立場から意見・要望を付して討論をいたします。

予算編成に当たっては、総合計画・行政改革への取り組み、健全財政の維持を基本方針に定めましたが、昨年に引き続き大幅な市税収入の減少から歳入の確保は最重要課題です。市長は協働と経営と言いますが、今まさに、すべての職員が経営の視点で取り組む意識改革が大切です。にぎわいにあふれ活力に満ちたまちを作るためにもＪ－昇格の湘南ベルマーレへの支援策が必要で、平塚競技場の大型映像装置の設置には拍手を送ります。

歳出では、無駄を省き効果的効率的な運営とともに

選択と集中のもと事業の点検作業の拡大を図る方針ですが、外部による事業仕分けを導入すべきと考えます。なお、事業の廃止や見直しによる市民の痛みに対し、行政の分かりやすい説明が必要になります。まちの魅力アップのため駅西口跨線橋のバリアフリー化を進めますが、多くの地域住民の長年にわたる要望の実現です。早期の完成を熱望します。また、駅西口東地自転車等駐車場は、財団法人を活用し整備します。平成20年9月議会で否決された案では、国の交付金を活用し、9億3000万円の5階建てでの整備計画なので、さらなる精査が必要として平塚クラブも反対しましたが、以前から駐車場の必要性は十分理解していますので、今回の整備計画は厳しい財政状況の中でよいものができたと考えます。

最後にこの難局を乗り越えるためには、市長がリーダーシップを発揮し、強い信念と行動力で全職員一丸となって取り組むことです。元気で活力のあるまちの創造に向けて市政運営されることを強く切望して賛成討論といたします。

賛 成

湘南民主クラブ

平成22年度予算は、危機的ともいえる財政状況の中で、いま一度家族や地域社会のきずなを取り戻すべく、この地に住んでいてよかったと実感できる地域社会を

議案第25号 平成22年度平塚市一般会計予算

実現しようとする姿勢に共感します。

歳入については、一般会計の根幹をなす市税収入の大幅な減収見込みであり、将来に向けた先行投資として、さがみ縦貫道路の整備促進に伴う新たな企業誘致策などが必要と考えます。

歳出については、「総合計画の着実な取り組み・行政改革への取り組み・健全財政の維持」の基本方針で、予算編成が行われましたが、平成22年度の施策について、何点か意見・要望を申し述べます。

まず、三大事業（新庁舎建設・次期環境事業センター整備・市民病院整備）の推進ですが、長年本市の懸案事項であっただけに、厳しい財政状況を見通して本格スタートできる状況になったことは評価します。しかし、今後本事業に関連するハード事業の計画もあり、実行に当たっては慎重に推進されることを要望します。次に、駅周辺の駐輪対策です。本来であれば、昨年の北口駅前広場と同時に駐輪場が整備されることでしたが、一昨年の議会で否決となり、早急に整備すべきと一貫して主張している私たち湘南民主クラブとしては、多くの市民が待ち望んでいることから早急に整備されることを望みます。

賛 成

清風クラブ

また、子育て世代の声を反映し、保育園待機児童の解消など「子育てするなら平塚で」のさらなる構築を望みます。

厳しい財政状況下での予算編成には理解しますが、社会経済情勢が厳しいのはだれよりも市民が肌で感じていることを忘れず、予算の執行に当たっては心を込めて取り組むことを要望して、賛成の討論といたします。

総合計画の新たな実施計画のスタートの年となり、着実な推進はもちろんのこと、三大事業などのハード整備、医療費や介護給付費等に係る特別会計への繰入金などの増加が見込まれており、財政状況が非常に厳しい中でも、市民に対しては安心・安全な、また安定した行政サービスの提供と財政の健全化を図らなければなりません。

駅周辺、見附台周辺、ツインシティ、西部地域の整備など大きな課題も控えていることから、今後、厳しい財政状況が続くことを視野に入れて、財政の健全化に一層努め、計画的、効果的な行政運営を進め、農業施策では、食料の安定

供給を図るために重要である農道・用水整備。そして後継者育成など積極的に地産地消を進める施策の実施を望みます。また事業の見直しにより中止・廃止になった事業、縮小になった事業については、関係者等に十分な説明を行い、「費用対効果」だけの判断ではなく、次年度以降も検討すべき事業として注視していただきたい。そして市民や各種団体、企業への「協働」を呼びかけるとともに「住民自治」「地域自治」への取り組みを進めていくことは必要であると認識していますが、この動きを進めるための予算措置をはじめとする行政が行うべき「行政の責任と役割」を把握し、しっかりと果たしていくことが重要であり、共に進むための情報提供と説明責任を十分に行っていたく要望を付して賛成討論といたします。

賛 成

公明ひらつか

平成22年度において、景気は緩やかに回復していくと見込まれるものの、現実には厳しい経済情勢は続いており、雇用情勢も厳しく、生活困窮者が増え続けているのも事実です。

こうした中、本市予算は

営をされることを希望して賛成討論とします。

賛 成

市民派の会

「協働」と「地域自治」を全面に出した苦心の予算編成となっております。特に、女性特有のがん検診無料クーポン事業については、現政権が取り組みについて賛同しているものの、予算を減額するという矛盾した予算措置をとる中、昨年並みの事業展開をすること、また「グリーンニューデール基金」の活用により、公明ひらつかが提案している環境に優しく大幅なCO2の削減が見込めて、長寿命でより明るいLEDタイプの防犯街路灯の設置を促進することについては、高く評価するところです。ただし、「子ども手当」事業については、国会で審議されておりですが、本来の民主党マニフェスト主張の「子ども手当」ではなく、これまで公明党が主張してきた児童手当の抜本拡充案を実現する内容に変わっていること、保育所待機児童対策や放課後児童対策など、トータルな子育て支援策を拡充するという方向で法案を修正させたことからこれを了として賛成するものです。

厳しい行政運営が予想される中、市長は2期目最後の1年を明確なリーダーシップを発揮して、自助・共助・公助の視点を明確に示して真の地方分権元年として緊張感を持って行政運営

賛 成

日本共産党平塚市議会議員団

市民派の会は意見要望を付して予算に賛成します。

保育園の待機児解消、学童クラブの耐震診断、高校奨学金制度の拡充、2人乗り自転車のレンタル制度、広報の全戸配布、住民要求の福祉村建設など厳しい財政状況の下、共産党議員団が要望してきた市民の暮らしを守る施策が盛り込まれている点を評価し賛成する。

しかし、仕事の点検作業による行政の一方的な事業廃止、行き過ぎた人件費削減、他市と比べ低すぎる非常勤職員の賃金は早急に見直し、市民病院への一般会

計繰り入れは削減ありきでなく法に沿って行うこと。市営住宅の指定管理者制度導入に際しても意見を付した。

可決された その他の議案

市長から提案された議案（一面掲載以外）の一部を紹介いたします。

◎議案第14号 平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

市長、副市長、常勤の監査委員及び病院事業管理者並びに教育長の給料月額を引き続き減額する特例を定めるため、それぞれの条例の附則を整備するもの。

◎議案第16号 平塚市手数料条例の一部を改正する条例

連結法人に係る優良宅地造成認定等に関して、県からの移譲により本市が行うこととなる事務等について手数料を徴収するほか、土壤汚染対策法の一部を改正する法律の施行に伴う汚染土壌処理業の許可に係る事務等について手数料を徴収するため、条例の別表を整備するもの。

◎議案第19号 平塚市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

心身障害者福祉手当の支給対象の範囲を一部改めるほか、必要な規定を整備するもの。